

授業科目 性と生殖

【担当教員名】 中山 和美、山口 典子		対象学年	2	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 人の性と生殖についての概念、発生の機序、形態と機能について学ぶ。また、人がその人らしく生きるために、ライフサイクル各期の性や生殖の発達や課題を理解し、セクシュアリティの看護を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 人間の性と生殖の概念と性行動について述べるができる。 2. 生殖器の形態と構造、生殖機能を説明することができる。 3. 妊娠成立の機序と家族計画について説明することができる。 4. 生殖に関する諸問題を説明できる。 5. 不妊症の定義とその原因、生殖補助医療について説明することができる。 6. 生殖補助医療における倫理をめぐる課題について考える。 7. 性と生殖に関連する倫理的課題について考えることができる。 8. 性と生殖に関連した問題を抱える人々への具体的支援方法について説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間の性と生殖の概念、人間の性行動			1	講義
2	生殖器の形態と機能			2	講義
3	妊娠成立の機序と家族計画			3	講義
4	生殖に関連する疾患			4	講義
5	不妊 ～定義、原因、生殖補助医療～			5、6	講義
5	不妊 ～生殖補助医療と倫理～			5、6	講義
7	性と生殖に関連する倫理的課題			5、6、7	講義
8	性と生殖に関連した問題を抱える人々への支援			8	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		必要に応じ随時提示します。			
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験、出席、参加態度などで総合的に評価する		【履修上の留意点】 自身の体の仕組みを知ること、本邦だけでなく諸外国における性と生殖に関連する喫緊の課題を考究して欲しい。			